

ニューロリハビリテーションの概念と基本的戦略  
-脳卒中後の上肢運動障害を中心に-～東京会場～

主催	株式会社 gene
日時	2017年3月19日(日) 10:00～16:00 (受付9:30～)
場所	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル 地下1階 ホール 東京都渋谷区代々木3丁目25-3
テーマ	脳科学を臨床に応用する！脳卒中後に生じる上肢運動障害はどのようにしておこなうのか理解できれば、リハビリテーションのヒントとなる！
内容	<p><b>【講義概要】</b> ニューロリハビリテーションとは「ニューロサイエンスと連携し、損傷後の神経機能回復の促進を目的としたリハビリテーション手続き」のことを指します。 今日、神経科学的知見から、治療量、課題指向型練習、段階的な難易度設定、フィードバック、豊かなリハビリテーション環境、チーム医療がニューロリハビリテーションの原則として提唱されています。このうち、課題指向型練習や段階的な難易度設定は、運動技能向上や身体地図の変化からも強く推奨されています。 また、単純運動の繰り返しよりも、スキル要求運動の練習が機能回復を促進させることから、治療や作業場面では臨機応変に難易度を調整することが戦略的に求められます。さらに、フィードバックに関しても、単純に結果の知識を与えるよりも、その性質を吟味し、それが報酬学習や誤差学習に関連した神経メカニズムを働かせるよう配慮することが求められます。</p> <p>本講義ではニューロリハビリテーションの概念、原則、そしてそのメカニズムを解説するとともに、運動学習の視点から脳卒中後の上肢運動障害に対する治療介入について説明します。 また、脳卒中後の病期別（急性期、回復期、維持期）の視点から、それぞれ神経メカニズムに見合った治療戦略について話します。 特に、上肢の運動機能回復を促進させる運動イメージや運動観察、課題指向型・道具操作練習、そして体性感覚フィードバックの治療手続きについて、これまでにエビデンスの示されている内容について臨床・基礎研究成果を整理しながら紹介していきます。</p>
講師	森岡 周 先生 畿央大学 健康科学部 理学療法学科 教授・理学療法士
対象	作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・その他
参加費	12,500円(税込)
申込方法	株式会社 gene ホームページ ( <a href="http://www.gene-llc.jp/seminar_info/?id=1477547413-357383">http://www.gene-llc.jp/seminar_info/?id=1477547413-357383</a> )より
申込期限	開催日前日まで
生涯学習システム 単位認定	日本理学療法士協会 認定理学療法士 及び 専門理学療法士制度 基礎理学療法専門分野 基礎 (全領域) 履修ポイント 5 認定 神経理学療法専門分野 神経 (全領域) 履修ポイント 5 認定
問い合わせ先	株式会社 gene 〒462-0059 名古屋市北区駒止町2-52 リベルテ黒川1階 TEL: 052-911-2800 (セミナー担当まで) URL: <a href="http://www.gene-llc.jp">www.gene-llc.jp</a>
その他	1) 受講料は、当日会場にてお支払い下さい。 2) 開催日を含め7日前からのキャンセルについては、キャンセル料(受講料全額)が発生いたします。